

(参考3) 東日本大震災からの景気の回復程度

1. 本調査について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって落ち込んだ景気のリcovery程度について、青森県景気ウォッチャーの方々に答えていただき、その結果をまとめたものです。

調査期間

平成24年4月2日～4月17日 回答率 100%

質問項目

現在の景気は、震災前と比べて、どの程度回復していると思いますか。

回答方法

5段階（震災前を上回っている／震災前をやや上回っている／震災前と同程度／震災前をやや下回っている／震災前を下回っている）から選択し、その判断理由を自由形式で記述。

2. 結果概要

(1) 東日本大震災からの景気のリcovery程度

県全体を見ると、「震災前を上回っている」、「震災前をやや上回っている」、「震災前と同程度」とする回答が合わせて50.0%、「震災前をやや下回っている」、「震災前を下回っている」とする回答が合わせて50.0%となった。

判断理由としては、震災の影響が薄れ、行事や催事の自粛がない分良くなっている、建築関連で震災前よりやや上回っている、という声がある一方、震災特需が落ちついてきた、復興事業は続くかもしれないが他の業種のリcoveryが見込まれない、という声があった。

地区別を見ると、震災前と同程度以上の回復をしていると回答した割合が、津軽地区が63.4%と最も高く、下北地区では20.0%と最も低かった。

分野別を見ると、震災前と同程度以上の回復をしていると回答した割合は、企業関連が61.1%で最も高く、次いで、雇用関連が57.2%、家計関連が46.7%であった。

3. 統計表

表1 東日本大震災からの景気の回復程度（県全体）

n= 100	(%)				
	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
平成23年7月	3.1	12.5	27.1	33.3	24.0
平成23年10月	1.0	12.0	33.0	35.0	19.0
平成24年1月	2.0	12.1	38.4	29.3	18.2
平成24年4月	1.0	19.0	30.0	39.0	11.0
前期調査との差	▲ 1.0	6.9	▲ 8.4	9.7	▲ 7.2

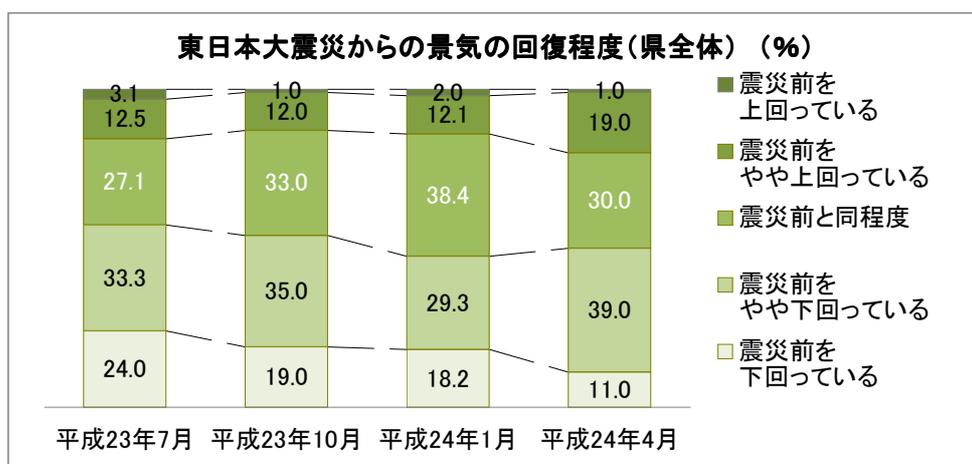
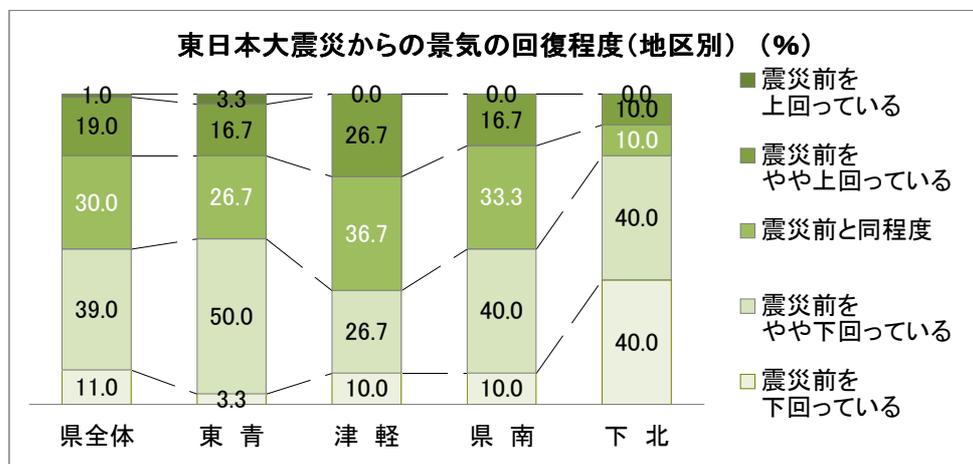


表2 東日本大震災からの景気の回復程度（地区別）

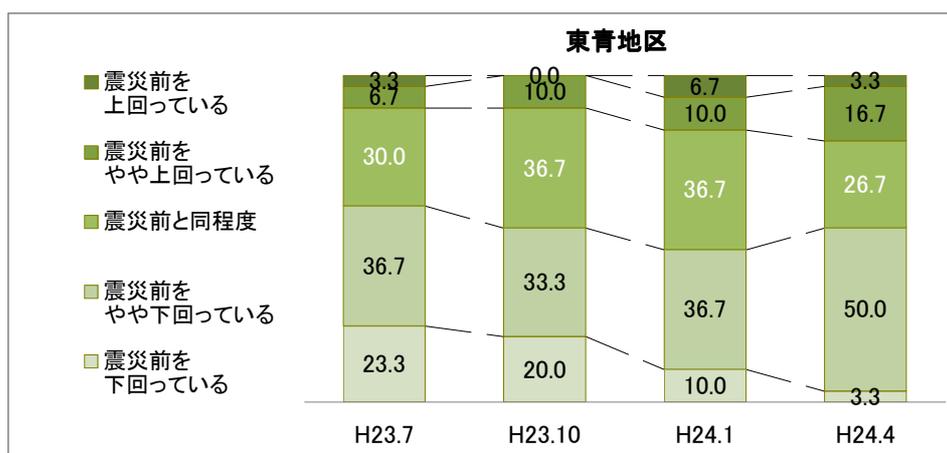
n= 100	(%)				
	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
県全体	1.0	19.0	30.0	39.0	11.0
東 青	3.3	16.7	26.7	50.0	3.3
津 軽	0.0	26.7	36.7	26.7	10.0
県 南	0.0	16.7	33.3	40.0	10.0
下 北	0.0	10.0	10.0	40.0	40.0



<東青地区>

(%)

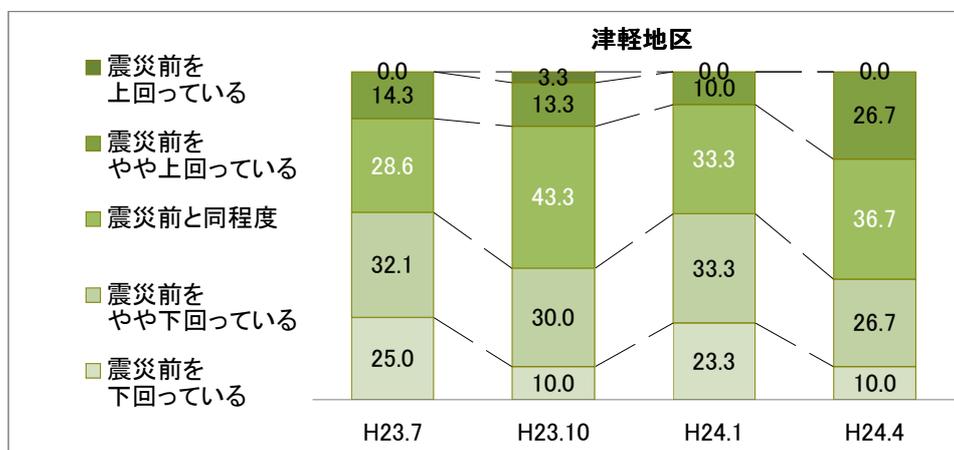
n= 30	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	3.3	6.7	30.0	36.7	23.3
平成23年10月	0.0	10.0	36.7	33.3	20.0
平成24年1月	6.7	10.0	36.7	36.7	10.0
平成24年4月	3.3	16.7	26.7	50.0	3.3
前期調査との差	▲ 3.4	6.7	▲ 10.0	13.3	▲ 6.7



<津軽地区>

(%)

n= 30	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	0.0	14.3	28.6	32.1	25.0
平成23年10月	3.3	13.3	43.3	30.0	10.0
平成24年1月	0.0	10.0	33.3	33.3	23.3
平成24年4月	0.0	26.7	36.7	26.7	10.0
前期調査との差	0.0	16.7	3.4	▲ 6.6	▲ 13.3

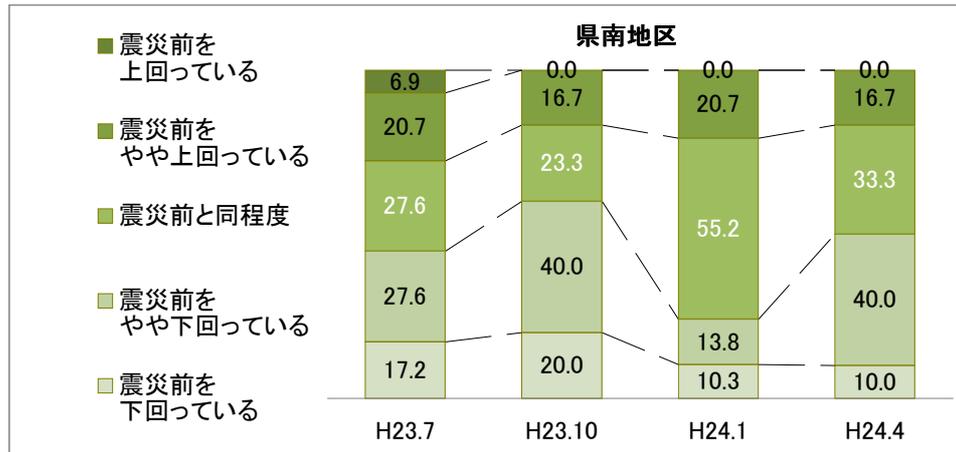


< 県南地区 >

(%)

n= 30

	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
平成23年7月	6.9	20.7	27.6	27.6	17.2
平成23年10月	0.0	16.7	23.3	40.0	20.0
平成24年1月	0.0	20.7	55.2	13.8	10.3
平成24年4月	0.0	16.7	33.3	40.0	10.0
前期調査との差	0.0	▲ 4.0	▲ 21.9	26.2	▲ 0.3



< 下北地区 >

(%)

n= 10

	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
平成23年7月	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4
平成23年10月	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0
平成24年1月	0.0	0.0	10.0	40.0	50.0
平成24年4月	0.0	10.0	10.0	40.0	40.0
前期調査との差	0.0	10.0	0.0	0.0	▲ 10.0

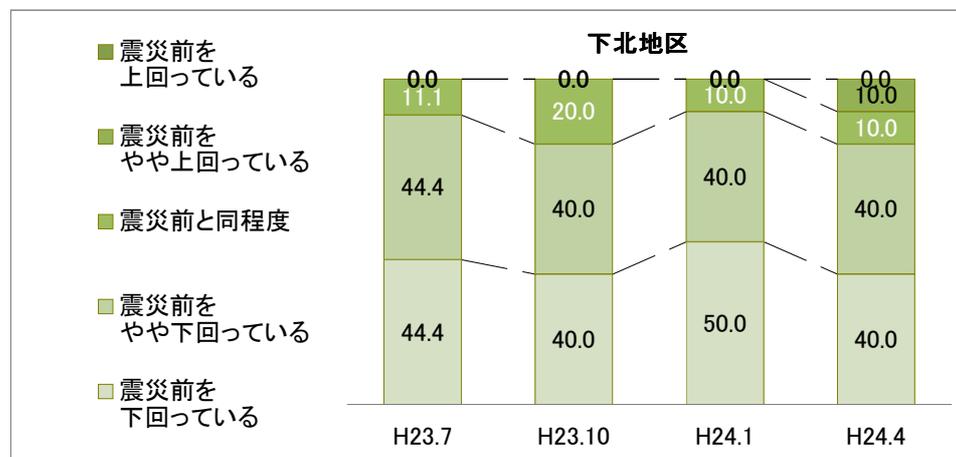
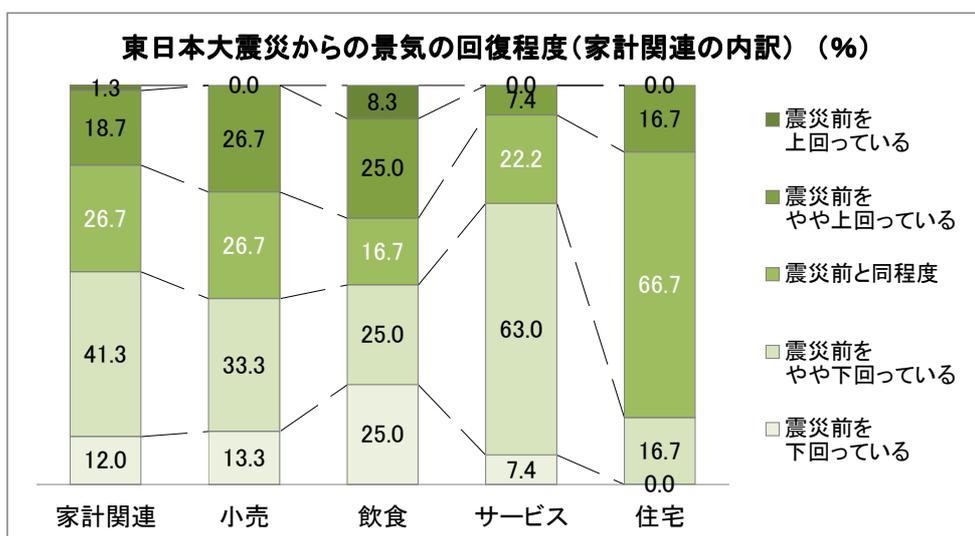
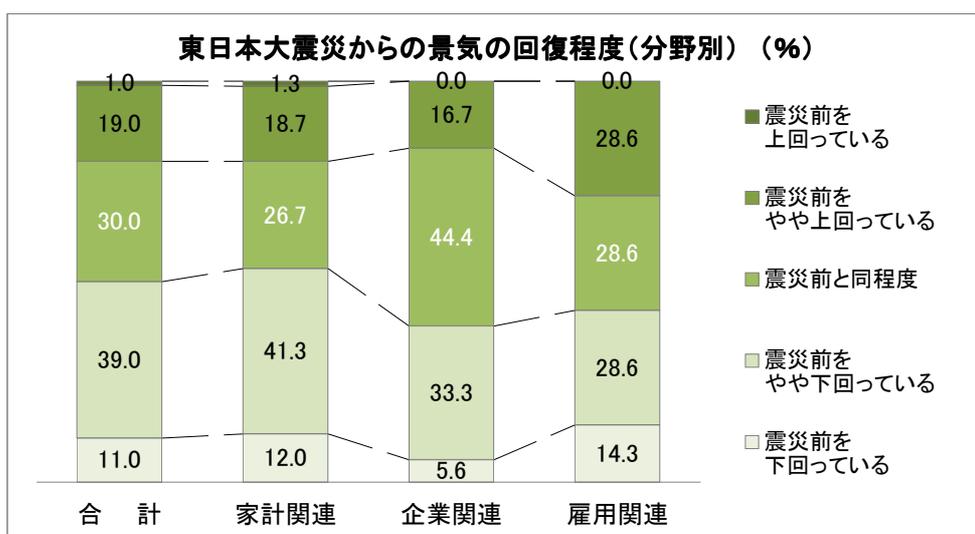


表3 東日本大震災からの景気の回復程度（分野別）

(%)

n= 100	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
合計	1.0	19.0	30.0	39.0	11.0
家計関連	1.3	18.7	26.7	41.3	12.0
小売	0.0	26.7	26.7	33.3	13.3
飲食	8.3	25.0	16.7	25.0	25.0
サービス	0.0	7.4	22.2	63.0	7.4
住宅	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0
企業関連	0.0	16.7	44.4	33.3	5.6
雇用関連	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3



<家計関連>

(%)

n= 75	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	4.2	9.9	29.6	35.2	21.1
平成24年10月	1.3	8.0	37.3	32.0	21.3
平成24年1月	2.7	13.5	32.4	32.4	18.9
平成24年4月	1.3	18.7	26.7	41.3	12.0
前期調査との差	▲ 1.4	5.2	▲ 5.7	8.9	▲ 6.9

<企業関連>

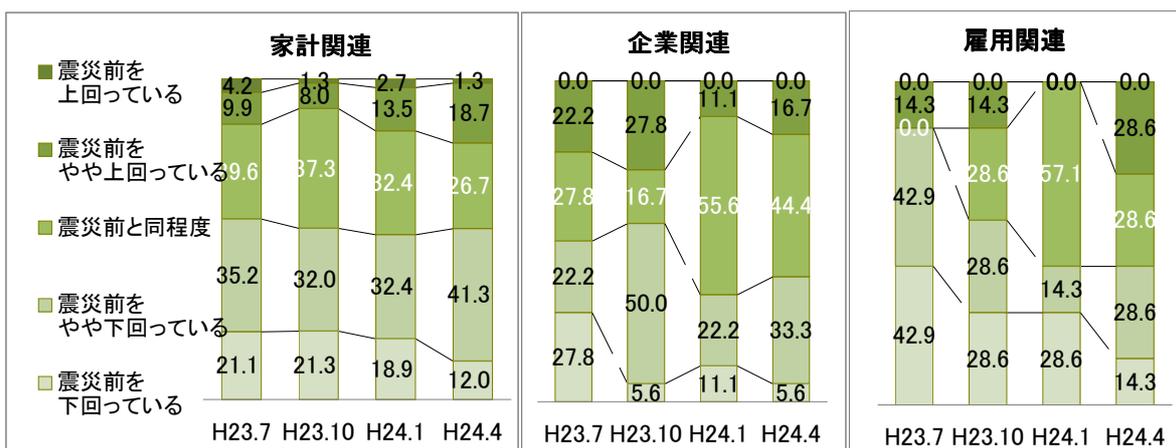
(%)

n= 18	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	0.0	22.2	27.8	22.2	27.8
平成23年10月	0.0	27.8	16.7	50.0	5.6
平成24年1月	0.0	11.1	55.6	22.2	11.1
平成24年4月	0.0	16.7	44.4	33.3	5.6
前期調査との差	0.0	5.6	▲ 11.2	11.1	▲ 5.5

<雇用関連>

(%)

n= 7	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	0.0	14.3	0.0	42.9	42.9
平成23年10月	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6
平成24年1月	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6
平成24年4月	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3
前期調査との差	0.0	28.6	▲ 28.5	14.3	▲ 14.3



4. 東日本大震災からの景気の回復程度の判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
震災前を上回っている	家計	東青	一般飲食店	震災は多くのことを教えてくれました。皆、協力し合いながら物事ができあがっているということなど、試練は必ず乗り越えられるということなど数えたらきりがありませんが、それぞれ様々なことを見直す機会であったと思います。
震災前をやや上回っている	家計	東青	百貨店	震災前より売上は上がっている。ただし、直後より現在は減少。
			乗用車販売	車の販売が上向いている。
			衣料専門店	3月の売上を震災前の22年度の同時期と置き換えてみると、若干ではあるが伸びています。震災時の景気から回復基調になっていると思われます。
	津軽	一般小売店	1月、2月は昨年比べてよい。3月は昨年悪かったにもかかわらず伸びが低下している。	
		商店街	大型小売店の再開が大きく影響し、人出の増加がみられることから、震災前よりは景気回復傾向にあるものとみている。	
		一般飲食店	地震の話題が出なくなった。売上、来店者数は震災時を上回っている。	
		タクシー	震災の影響が薄れ、行事や催事の自粛がない分、良くなっていると思う。	
		美容院	地元の方々も動いていますが、応援してくださっている他県の方々にも支えられて滞ってはいられなくなっています。	
		県南	スーパー	前々年の売上をクリアしている。(前年比及び前々年比をクリア)
	一般小売店		小規模の建設会社や工務店等に仕事が回って来ているようで、ようやくお金が回り出したようだ。	
	レストラン		震災前もあまり良くなかったが、震災直後は正直な所、先行き不安でした。現在は、少しは良くなって来たかなと思います。	
	設計事務所		建築関連が震災復旧で受注しているため、震災前よりやや上回っている。	
	企業	津軽	電気機械製造	タイの洪水の影響で受注が増えている製品もあるため。
		県南	広告・デザイン	よく見えるのは一部のみ。
下北		食料品製造	去年の3,4月を上回ることは至極当たり前のことで、然らば、自分たちの考えていたような数字かということ、そこ迄行けない。	
雇用	津軽	新聞社求人広告	業種、業態によって好不況のバラつきが感じられる。平均すればやや向上というところか。	
		設計事務所	職種によって異なると思う。当方は変化なしと思う。	
震災前と同程度	家計	東青	競輪場	職種によって異なると思う。当方は変化なしと思う。
			設計事務所	地元業者数社 仙台に進出したとのこと。成果は。

現状	分野	地区	業種	理由	
震災前と同程度	家計	東青	住宅建設販売	震災中は建材などの流通で苦労して、現在は震災中よりは、はるかに良いが、震災前の売上とほとんど変化なし。一時的に増えたかも・・・と思っただけでした。	
			津軽	衣料専門店	弘前は震災に関係ない。
				観光名所等	大雪による影響が残っている。
				旅行代理店	復興事業はまだ続くかもしれませんが、他の業種の回復が見込まれません。
				住宅建設販売	弘前近郊での当業界にはあまり影響が無かったような気がする。
		県南	コンビニ	売上、客数とも同程度で推移している。	
			家電量販店	八戸は震災のダメージが少なかったため。	
			卸売業	震災復興も一段落したため、昨年対比では厳しい数字になる。	
	一般飲食店		今は上回っているが、これからは落ち着きダウンする流れになる様に思われる。色々な補助が終了する。		
	企業	東青	食料品製造	物流は完全に回復。当社で生産している製品の消費動向は下げ止まったという感じ。	
			経営コンサルタント	政府の対応遅れから震災復旧の本格的動きが出てこない。	
		津軽	経営コンサルタント	弘前は、震災の被害もほとんど無かった為、震災復興関連の仕事が少なく、以前のままでのような感じがする。	
			広告・デザイン	仙台地区では震災復旧に関連した仕事が多くある様だが、地元では回復を実感する程の仕事量が無い。	
		県南	食料品製造	代替需要が一段落しつつあるから。	
紙・パルプ製造			被災の影響は限定的で目立った復興需要もなく、景気全般は震災前後変わらず低迷している。		
雇用	県南	新聞社求人広告	1年がたち、ようやく落ち着きが戻ってきたような気がする。		
震災前をやや下回っている	家計	東青	コンビニ	客数、売上共にぱっとしない。	
			スーパー	震災前はやや上向き傾向がみられたが、震災後から現在まで停滞傾向である。	
			商店街	セールやイベントを展開しても、なかなか前のような景況感を実感できない。	
			卸売業	被災地への復興作業の為、人が結構流出していると思われる。	
			観光型ホテル・旅館	1年たってもまだまだ改善されていない。国がもっと力をいれるべきだ。	
			都市型ホテル	婚礼需要が回復していない。	
			観光名所等	団体のお客様がみえない。	

現状	分野	地区	業種	理由
震災前をやや下回っている	家計	東青	タクシー	震災後1年が経過しましたが、まだまだ原発問題での風評被害などで低迷していて、震災前をやや下回っていると思います。
			美容院	まだまだ、地震が起こっている中、神経質になっている人が多く見受けられる。
		津軽	観光型ホテル・旅館	震災後の景気の悪い状態が続いている。
			都市型ホテル	震災特需が落ちついてきたことに併せ、東北の消費需要はまだ弱い。
			ガソリンスタンド	土手町、鍛冶町に賑わいが無い。
			設計事務所	技術者が震災関係にとられ、地元で数が少なく、人材確保が難しい。
		県南	百貨店	震災復興関連の業種は、業績が上向いているが、地元としては水産加工業や漁業関連はまだまだ元に戻っていない。また、10年度と比較しても、売上状況は良いとは言えない。
			衣料専門店	良い方向に向いてくれそうな期待感があったのですが、昨年よりはいくらか良いのですが、22年度の売上には達していない状態です。
			観光名所等	店の売り上げをみると、去年の今頃(震災後)とあまり変わらない金額です。
			旅行代理店	前年同期の頃は旅行自粛の真っ只中であつたが、それでは復旧・復興につながらないとの雰囲気もあり、回復はしているものの、震災前ほどではない。
	タクシー		震災後、1年が過ぎ、目鼻のついた所もあるようだけれども、未だに思考しながら歩んでいるところもあるようだ。でも、力強く足音は聞こえている。	
	美容院		物が動かず、余震不安も関係ありそう。	
	パチンコ		復興に向けて建設業等は景気が良いと言われていますが、それが全体に浸透し、景気が上向いてくるのはいつのことでしょうか?と思われる現状かと思えます。	
	観光型ホテル・旅館		海外事業の業績が風評被害から回復していない。	
	下北	一般小売店	震災の直接被害は無かったですが、東通原発、大間原発の工場のストップは影響有だと思えます。	
		ガソリンスタンド	原発関係の仕事が止まっている以上、良くならないと思えます。	
	企業	東青	広告・デザイン	観光に携わる業種は未だ回復しきってはいない。
			津軽	食料品製造
		県南	飲料品製造	気持ち的に消費行動が控え気味の気がする。地方だと顕著。首都圏では復興支援の動きがひんばんらしいが。
			電気機械製造	震災前はヨーロッパや中国が良かった。今は良くなく、その影響を地域の製造業も大きく受けている。近所の工場も少しヒマそうです。
経営コンサルタント			被災地には保険金、公的助成金、見舞金など多額の資金が流入したが、まだ特需にはなっていない。	

現状	分野	地区	業種	理由
震災前をやや下回っている	雇用	東青	人材派遣	風評とはいかないまでも、東北全体でまだマイナスになっている部分は大きいと感じる。
震災前を下回っている	家計	東青	旅行代理店	震災後に旅行計画を中断しているお客様からの再計画についての話が不景気を理由になかなか立ち上がってこないため。
		津軽	スナック	雪が多かったせいもあるかもしれません。
		下北	コンビニ	震災前にいた原発関係者の人数が下回っている。
			スーパー	原発工事等が再開できない。
			一般飲食店	どこの地方がよくなっているのか分かりませんが、震災前からみるとまるっきりよくありません。
			タクシー	むつ、下北地方は原発関係の建設工事再開の目途が立っていない状況。観光客等の予約減少など。